

第10回オペレーターユーザー会

ユーザーに学ぶ!

実践したい レーザー診療セミナー

2024年



5月26日 日



10:00~14:00

株式会社 **ヨシダ** 本社 3F
東京都台東区上野 7-6-9

¥3,300.- (昼食有・税込)



座長: 吉野 晃 先生



三宅 甲太郎 先生



宮地 栄介 先生



吉野 真弘 先生

裏面もご覧ください



お申込み方法 ヨシダのホームページまたは下記URLよりお申込みください。

ヨシダ セミナー

<https://x.gd/kBopj>スマホからは
QRで簡単アクセス▶

※受講料の返金は致しかねますので、ご了承ください。当日、ビデオ撮影等はご遠慮ください。

ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。

G-PLUS会員登録についてのお問合せ

g-plus@yoshida-dental.co.jp※メールでの受付・回答のみとさせていただきます。
※お問合せは順次対応させていただきますが、状況により回答までお時間をいただく場合がございます。予めご了承ください。

ユーザーに学ぶ！ 実践 したい レーザー診療セミナー

5月26日(日) 10:00~14:00 株式会社 **ヨシダ** 本社3F ¥3,300.- (昼食有・税込)

10:05

レーザーとマイクログラフを併用した精細な治療

COJIDENTAL OFFICE 院長
日本歯科大学附属病院 非常勤講師
日本歯科保存学会 認定医
日本歯内療法学会 所属
AAE(米国歯内療法学会) 所属
日本顕微鏡歯科学会 所属



吉野 真弘 先生

炭酸
ガス
半導体

当院では、精密性と患者への負担軽減を目指して、マイクログラフと炭酸ガスレーザー・半導体レーザーを併用して臨床を行っております。炭酸ガスレーザーと半導体レーザーの適切な使い分けとマイクログラフの併用を通じて、拡大視野下におけるパーフォレーション部の止血や、焦点距離の異なるヘッドを活用した頬小帯の切除など、治療成果の最大化と患者ケアの質の向上を実現する方法を臨床ケーススタディに基づき紹介します。

10:45

炭酸ガスレーザーの日常臨床における有用性を再考する インプラント治療から結合組織採取への応用

宮地歯科医院 院長
SBC インストラクター
club SBC 会長
SAC (Sinus Approach Course) 講師
日本歯周病学会 認定医
明海大学・朝日大学卒業
研修コース講師



宮地 栄介 先生

炭酸
ガス

日常臨床において炭酸ガスレーザーは、抜歯後の血餅の保持や、軟組織の除去等に用いることができる。また結合組織移植を行う際に炭酸ガスレーザーを利用して上皮を除去し、FGGを行う要領で結合組織を採取することで、術式のハードルを下げるができる。今回は実際の症例により炭酸ガスレーザーの有用性をお伝えしたい。

12:15

広がる治療の選択肢 炭酸ガスレーザーと半導体レーザーの臨床活用

三宅歯科クリニック自由が丘 院長
日本顎咬合学会 噛み合わせ認定医
口腔インプラント学会 所属
AO(アメリカ・インプラント学会) 所属
スタンディグループ赤坂会 会長



三宅 甲太郎 先生

炭酸
ガス
半導体

炭酸ガスレーザーを導入して10年。歯肉切除くらいでしか活用しておりませんでした。現在は色々な活用法を知り臨床応用しております。また今では半導体レーザーも選択し、より多岐に渡り臨床の選択肢が増えたことを実感しております。今回はソケットブリザベーションや歯周治療などの日常的な症例を中心に、炭酸ガスと半導体レーザーそれぞれの特性を生かした実践的で低侵襲な治療について供覧いたします。

12:55

レーザーを包括的に使用する

吉野デンタルクリニック 院長
明海大学歯学部機能保存回復学講座保存学分野 客員助教
日本大学歯学部感染症免疫学講座 兼任講師
日本口腔インプラント学会 専門医
日本顎咬合学会 認定医・指導医
日本レーザー歯学会 認定医



座長・総括講演
吉野 晃 先生

炭酸
ガス
半導体

レーザーには切開や蒸散など手術を主目的とする高反応レベルレーザー治療 (High-reactive level LAZER/light therapy: HLLT) と生体刺激を期待する低反応レベルレーザー治療 (Low-reactive level LAZER/light therapy: LLLT) に大きく分けられることは広く認知される。とくに低反応領域の治療は近年、その生物学的メカニズムが徐々に明らかになり Photobiomodulation (PBM) と呼ばれ再注目されている。超高齢社会を迎え口腔機能の維持・回復が歯科の命題とされるなか包括的な咬合治療でのレーザーの役割について改めて考えてみたい。



照射方法のご解説・
デモンストレーション
実施します！

